

57 沖縄空手会館展示施設を中核とした文化観光拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者)：沖縄県
 文化観光推進事業者：(一社)沖縄伝統空手道振興会、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄空手振興ビジョン推進パートナーズ、おきなわ工芸の杜共同企業体、沖縄JTB(株)

計画期間

2024年度～2028年度(5年間)

目標

- ・展示施設入館者数(有料施設)
 2019年度 11千人→2028年度 20千人(1.8倍)
 ※10年後(2033年度)には 33千人(3倍)
- ・展示施設外国人入館者数(有料施設)
 2019年度 3千人→2028年度 5千人(1.7倍)
 ※10年後(2033年度)には 8千人(2.7倍)
- ・展示資料の満足度
 2023年度 67.7%→2028年度 73% (+5.3%)
- ・レストラン・ショップの売上げ
 2023年度 21百万円→2028年度 29百万円(+8百万円)
- ・体験プログラムの参加者(年間)
 2023年度 538人→2028年度 1,200人(2.2倍)

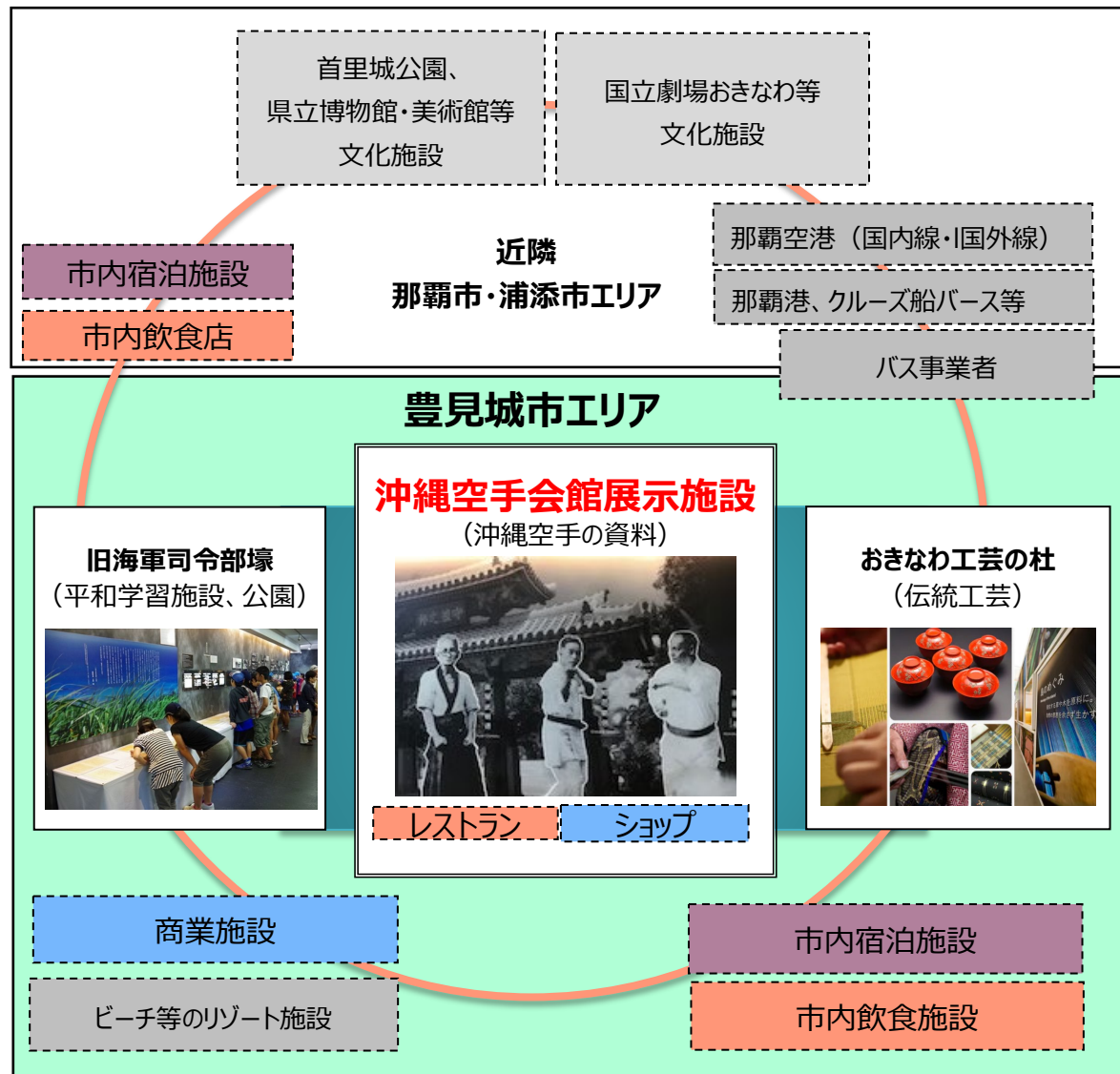
文化観光拠点施設機能強化事業

- <1.文化資源の魅力の増進>
 ・常設展示ストーリーづくり事業等
- <2.文化についての理解促進>
 ・沖縄空手展示解説多言語化事業等
- <3.文化観光に関する利便の増進>
 ・展示施設巡回バス運行事業等
- <4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>
 ・レストラン・ミュージアムショップ商品開発事業等
- <5.国内外への宣伝>
 ・展示施設広報強化事業等
- <6.施設又は設備の整備>
 ・常設展示パネル設置工事事業等

文化観光推進事業費(5年間の計画ベース)

237百万円(うち、文化観光推進事業補助金156百万円)

計画区域



中核文化観光拠点施設
 (沖縄空手会館展示施設)

主要な文化資源
 (沖縄空手の資料)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設